

大規模災害からの被災住民の生活再建を支援するための応援職員の派遣の在り方に関する実務検討会（第2回）【議事要旨】

1 日 時

平成29年8月29日（火）13:30～15:30

2 場 所

総務省11階共用1101会議室

3 出席者（五十音順）

尾 田 広 樹（指定都市市長会事務局次長）
菊 地 智 春（東京都総務局総合防災部広域連携担当課長）
直 江 史 彦（全国町村会行政部長）
前 阪 一 彰（兵庫県企画県民部防災企画局広域企画室長）
陸 川 克 己（全国市長会行政部長）
海老原 諭（総務省自治行政局市町村課長）
高 橋 信 博（内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（総括担当）付参事官補佐（政策企画・法制担当））
【代理出席】
光 永 祐 子（消防庁国民保護・防災部防災課災害対策官）
【代理出席】
諸 戸 修 二（総務省自治行政局公務員部公務員課長）

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 意見交換
- (3) 閉会

5 議事の経過

事務局から、今後の実務検討会における各回の検討項目等について説明を行った後、意見交換を行った。出席者からの主な発言内容は以下のとおり。

- 現地調整会議の要員を被災地に派遣する前段階として、情報収集をしっかりと行う必要があるのではないか。
- 応援職員の派遣に関する災害時の連絡調整のため、全国知事会等関係者間の緊急連絡網の整備が必要ではないか。
- 災害マネジメント総括支援員は、役割や必要なスキルを例示して推薦を募るべきではないか。

以上

文責：自治行政局公務員部公務員課